

くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 西野さち子です！

発行：2018年11月25日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

住民アンケートのご協力ありがとうございました

小栗栖、醍醐各地で議会報告演説会開催中!!



70人が参加した小栗栖小学校



西野市議の訴えに熱心に聞き入る

11月18日に日本共産党は小栗栖、春日丘、醍醐の各中学校区で議会報告会を開きました。最初に地域のアンケート結果についての特徴が報告され、「憲法9条を守ってほしい」「敬老乗車証は今まで残してほしい」「暮らしが大変。消費税の増税はやめて」という声が多かったとの事でした。また、北醍醐は「近くに買い物をするところがなく、調味料一つ買うにもバスに乗っていかなければならないので大変」という声が紹介されました。

西野さち子市議は「9月議会では、消費税の増税中止を求める請願が114件出されました。共産党以外の議員は一言も意見を言わず、議論のないまま、即不採択にしてしまいました」「11月議会に提案予定の補正予算案に国民健康保険の累積黒字54億円のうち、18億6千万円を国保基金に積み立て、同額の18億6千万円を国保に関係のないものに使える財政調整基金に積み立てるという提案がされます。高すぎる国保料の値下げに使うべきです」と報告しました。府会報告を馬場府会議員が、国政報告を金森とおる3区代表が行いました。

小栗栖小学校では地域の自治会会长さんや副会長さんも参加され、真剣に聞き入っておられました。



市営住宅の住環境改善迫る

浴槽・火災警報器は市の責任で取り換えを

西野市議はまちづくり委員会で、建設から40年以上経った市営住宅の環境改善について質問しました。

一つ目は浴槽の問題です。永く使っていると、表面がすり減って錆が出てきます。これまで何度も質問していましたが、最初は「ホーローには耐用年数はない」と言っていた京都市ですが、「表面がすり減ることはある。相談があれば見に行っている」と答弁が変化してきました。しかし、まだ「個人で取り替えてもらう」との立場です。西野市議は「かつては計画的に取り替えていた。10万円以上の個人負担は重すぎる。公私負担区分を見直して、大家の責任で浴槽の取り換えをすべき」と質しました。



個人負担は4千円～6千円の負担になります。西野市議は「負担のできない人はどうするのか。市営住宅全体の安全の為に市の負担で設置すべき」と質しました。



国保会計の黒字は保険料の値下げに使え！11月議会補正予算案

11月議会に提案された補正予算案の中に、国保会計についての提案があります。

国民健康保険の黒字分54億円のうち、18億6千万円を国保基金に積み立て、同額の18億6千万円を財政調整基金に積み立てるというものです。財政調整基金は、国保以外でもなんにでも使えます。国保料として徴収されたものを他の事業に使っていいのでしょうか。

高すぎる保険料の値下げは、全国知事会からも要望が上がっているのです。保健料として徴収したものには黒字になれば、保険料の値下げに使うべきです。